

議会だより みなかみ

令和6年
2024年
10月15日発行
80号
群馬県利根郡みなかみ町

持てる力を
出し尽くせ！



特集

令和5年度決算

9月定例議会

特集 令和5年度決算	2
本会議審議内容及び結果	4
決算連合審査会	6
一般質問	8
活動報告	11
まちの匠	15



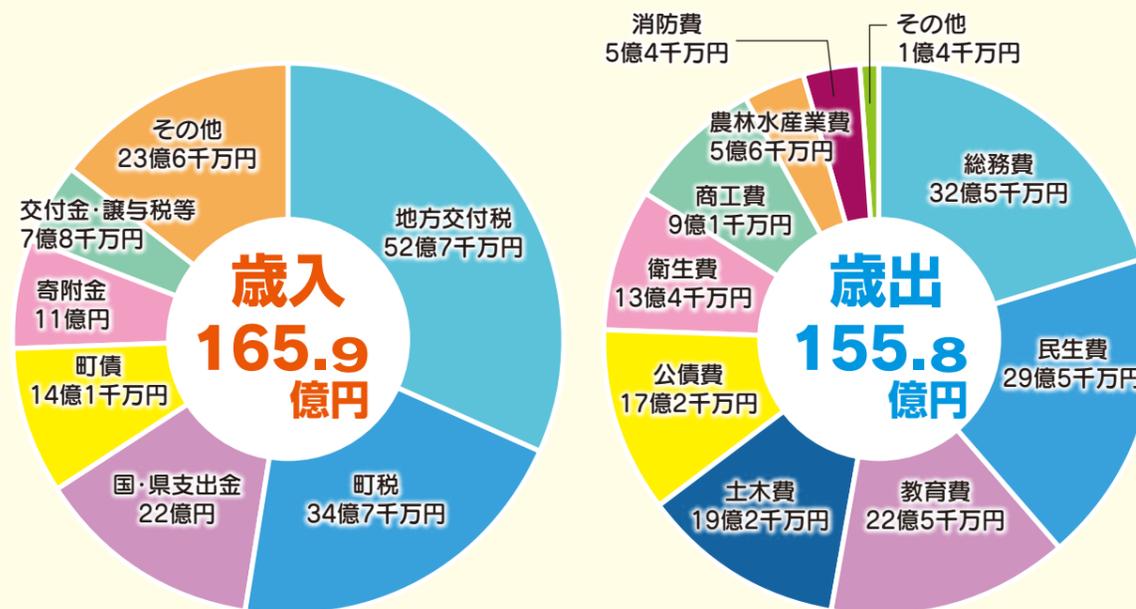
バックナンバー
が見られます。



令和5年度決算を認定

一般会計決算の概要

歳入 165 億 9044 万円 歳出 155 億 8416 万円
 歳入歳出の差引額 10 億 628 万円。繰越財源を控除した実質収支額のうち、2 億 8000 万円を財政調整基金へ積み立て、残りは令和6年度に繰り越しました。



	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	21億9135万円	21億1919万円
後期高齢者医療特別会計	3億4165万円	3億1659万円
介護保険特別会計	28億5352万円	27億3551万円
下水道事業特別会計	8億6514万円	8億1631万円
水道事業会計	収益的収支	3億9429万円
	資本的収支	3億2211万円
		3億4750万円
		2億308万円

※千円以下を四捨五入しています。

歳入 自主財源と依存財源

歳入構成

区分	決算額	構成比
自主財源	69 億 2569 万 8321 円	41.75%
依存財源	96 億 6473 万 8317 円	58.25%
計	165 億 9043 万 6638 円	100.00%

自主財源は、町税、寄附金、使用料等です。依存財源は、地方交付税、国・県支出金、交付金・譲与税等です。町が担うべき役割に応じた財源の確保はたいへん重要で、本来、町の財源は町税などの自主財源をもって賄うことが理想ですが、財源の地域的な偏在は周知の事実です。

しかし、依存財源については国も将来に向けた財源確保に課題があるなかで、町がこのまま現状を維持することには問題があります。自主財源確保のために、ふるさと納税の強化や民間の資金力を活かした取り組みを目指すべきです。

歳入 11億288万円 寄附金

ふるさと寄附金（ふるさと納税）7億6705万円、地方創生応援税制寄附金（企業版ふるさと納税）3億3460万円、その他の寄附金の合計額です。

ふるさと納税は現行の制度のもとでは、寄附先に制限はありません（ただし、自分の住んでいる自治体に寄附しても返礼品は受け取れません）。納税者は応援したい自治体と関係なく返礼品により納税先を選んでかまいません。

これからは、返礼品の内容によらず「みなかみ町だから」と選んでいただけるような魅力づくりが必要です。

歳出 4369万円 旧防災行政無線設備撤去

防災 Info（インフォ）みなかみの運用開始により廃止となった100か所の既設設備等が撤去されました。

現在は町内に18か所の屋外放送施設がありますが、近年の住宅は遮音性が高まり、また気象や地形の影響で、屋外の放送が聞こえないこともあります。

そこで、防災 Infoみなかみの利用をお勧めいたします。

みなかみ町ホームページ
防災Infoみなかみ



歳出 4156万円

ネイチャーポジティブ推進

5つの主な活動

- 1 生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換する活動
- 2 生物多様性豊かな里地里山の保全と再生活動
- 3 ニホンジカの低密度管理の実現
- 4 NbS（Nature-based Solutions）の実践
- 5 生物多様性保全や自然の有する多面的機能の定量的評価への挑戦と活用

町は令和5年2月に、三菱地所（株）、（公財）日本自然保護協会と10年間の連携協定を結びました。それぞれの知見を活かしネイチャーポジティブな社会の実現を目指すものです。

ネイチャーポジティブとは、生物多様性の保存と回復を意味する言葉で、防災・減災、水源かん養、獣害対策、持続的な地域づくりを「自然に根ざした」手法で実践することです。

協定期間内に予定されている企業版ふるさと納税を原資に取り組まれています。

歳出 2億4007万円

エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金

住民税非課税世帯、家計急変世帯に一世帯あたり最高額で10万円、さらに児童1人あたり5万円が加算された給付金が支給されました。



写真はイメージです。

9月3日から13日までの会期中で9月定例議会を開いた。発議1件、報告4件、諮問3件、条例3件、その他3件、認定6件、補正予算2件を審議した。一般質問は2人であった(8〜10頁)。

決算認定

一般会計

【反対】星野宗央議員

財政調整基金は4億2千万円上乗せされ31億6127万円。住民の負担は増えているので、余裕があるならば住民に寄り添った財政運営をすべき。

【賛成】河合史将議員

各種計画に沿った施策と事業が行われ、教育などの環境整備が計画的に進められるなど、事業執行の有効性について妥当であると判断される。

国民健康保険特別会計

【反対】星野宗央議員

県が運営を始め保険料負担が

軽くなったかといえそうではない。物価高騰等でただでさえ大変なところに、これ以上の保険料の負担増は耐えられない。

【賛成】江口 樹議員

決算額は歳入・歳出ともに前年度から減少しているが、翌年度への繰越金や基金保有額も確保され、財政面では適正な運営が維持されていると判断できる。

後期高齢者医療特別会計

【反対】星野宗央議員

今後も医療費は増えると思われ、負担を減らす取り組みは必要。安心して医療を受けられる制度にしていく必要がある、保険料の一層の負担軽減を訴える。

【賛成】森 健治議員

町は保険料の賦課徴収を適切に行い、広域連合は財政運営、資

格管理、保険料率の決定、保険給付を行うことで、安定した医療保険制度運営が図られている。

介護保険特別会計

【反対】星野宗央議員

所得がなくても介護保険料がかかる、納めるのが大変な方も増えている。誰でも安心して介護保険を利用できるように、利用料、保険料を下げるべき。

【賛成】阿部 清議員

介護予防事業に取り組み、給付費の適正化に努めていると判断できる。保険料は介護保険事業計画において給付費必要額が試算され、それを基に算出されている。

議長報告

石坂欣也議員の本会議、委員会等での度重なる遅参等に対し、先般、医師への相談を含め改善を求めたが、その後も遅参がなおあり、やむを得ず新たな対応を求めた。本人より改善に努める旨の意思表示があったので、議会としても引き続き寄り添ってまいりたい。石坂欣也議員には、改善に向け心して取り組んでいただくことを求める。

9月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
発議 第2号	議員派遣 群馬県町村議会議員研修会に全議員を派遣するもの	全会一致可決
報告 第5号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について	/
第6号	株式会社水の故郷の経営状況の報告	
第7号	株式会社猿ヶ京温泉夢未来の経営状況の報告	
第8号	株式会社月夜野振興公社の経営状況の報告	
諮問 第2～4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任との意見
議案 第44号	個人番号の利用に関する条例	全会一致可決
第45号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	
第46号	福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	
第47号	利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定	
第48号	訴えの提起	
認定 第1号	一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数可決 12:1
第2号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	
第3号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	
第4号	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	
第5号	下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	
第6号	水道事業会計決算認定	
議案 第49号	一般会計補正予算(第2号)	全会一致可決
第50号	下水道事業会計補正予算(第1号)	
第51号	道路メンテナンス補助事業町道月夜野175号線藪田棧道橋橋梁補修工事請負契約の締結	

決算審査

代表監査委員の澁谷正誼氏により各会計決算及び各基金運用状況の審査意見について報告があった。(一部を要約)

令和5年度決算について試査の方法により審査した結果、一般会計、特別会計及び企業会計を通じ、会計処理は適法適正であると認めたので報告する。

歳入

町税や使用料等は、いかに滞納繰越額を増やさないかが課題である。毅然とした厳しい対処により、住民間の公平と財源の確保に努めることが望まれる。

歳出

事務事業の必要性・重要性の検討を進め、未利用財産等は、具体的な売却・貸付に向けて年次計画を策定するなど、少しでも経費削減ができるよう対応を進めてほしい。

移住定住

全国的に移住事業が加速している中で、どう本町の魅力を伝えていくかが課題となる。一方では町内の若者層流出を抑制する施策を検討するというのが、実態把握のハードルは高い。しかし、期待をしたい。

補正

総額 165億9875万円

補正額 3億6598万円

(端数処理あり)

歳出

し尿・浄化槽汚泥処理事業……………2725万円
ローカルスタートアップ支援事業……………4000万円
その他……………2億9873万円

歳入

普通交付税……………1億6571万円
地域経済循環創造事業交付金(国)……………2667万円
その他……………1億7360万円



委員会

決算連合審査会

9月5日、2常任委員会合同の「連合審査会」が開催された。本会議で決算認定を行うため、質疑応答で詳細を審査する目的がある。(一部抜粋)

一般会計

歳入

質 決算総額165億9044万円。町村合併当初は100億円を目指していた。人口約7千人減の状況だが財政規模は膨らんでいくのか。

答 事業規模は抑えているが、必要性を考え徐々に増えている状況。将来を担う世代の負担とならない予算編成、施策展開をしているか。

質 将来的なことも考え臨んでいるが、国の政策事業もある。起債の償還は減らしていきたい。

答 ふるさと寄附金7億6705万円。町民が他の自治体に寄附することによる町の減収額は。個人町民税1486万円。

歳出

質 シェアサイクルGPSロガー^{※1}経路分析業務委託料77万円。分析結果は。

答 水上駅での離発着が多く約60%は湯原内での利用。立ち寄り場所と利用時間を分析し、観光客と町民の料金設定を変更した。

※注1 GPS衛星を利用して移動経路を記録する機器。

質 みなかみファンクラブ構想事業委託料200万円。内訳と見込まれる効果は。

答 ファンクラブ公式LINEの構築費、運用費、広告宣伝費、諸経費。観光協会のHPとリンクし宿泊予約ができ、ふるさと納税の窓口ともリンクしている。

質 小中学校統合推進事業の用地移転補償費2億1617万円。補償の内容と支払先は。用地購入費4179万円。予算は1億5千万円と伺ったが。

答 利根商の第2体育館の建物補償、門扉、境界ブロック、立竹木等の工物物補償。学校組合へ支払った。用地は実際の購入面積が狭かったことと不動産鑑定額が想定より低かったことにより低価になった。

下水道事業特別会計

質 農業集落排水処理施設維持管理事業へ予備費より110万円充用している。内容は。

答 藤原下地区農業集落排水処理施設のエンジンポンプが故障し緊急修理を行った。

審査結果

審査の結果、一般会計、国保、後期高齢、介護特会で反対討論があり賛成多数で認定すべきものとなった。水道事業、下水道特会は討論はなく全会一致で認定すべきものとなった。

7月臨時議会あらかし

7月5日に臨時議会が開催された。報告1件、承認1件、契約3件を審議した。

7月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果	
報告 第4号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告		
承認 第4号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認	
議案	第41号	行政事務用パソコン購入契約の締結	全会一致可決
	第42号	資源リサイクルセンターホイルローダー(5t級)購入契約の締結	
	第43号	町立月夜野小学校校舎建設工事請負契約の締結	賛成多数可決 11:2

契約

月夜野小学校校舎建設工事の請負契約を締結するもの

反対 星野 宗央議員

金額21億5820万円の工事請負にもかかわらず入札業者は1者のみで、一般競争入札のシステムを活かしきれしていない。今回の落札金額が妥当といい切れない。競争入札システムを活かし適正価格を追求すべき。

活動報告

8月30日 研修
カルチャーセンター

利根郡町村議会議員研修会

利根郡町村議会議長会が主催する研修会に全議員が出席し、左記の講演を聴講しました。
・議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開策の道を探る
・将来の地方議会を担うのは誰か

活動報告

9月20日 勉強会
役場本庁舎

議会における質問を考える

高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科 倉澤政則教授をお招きし勉強会を開催しました。

群馬県庁在職中の議会対応の経験を基に、質問に際しての事前準備等をご教示いただきました。「質問者・答弁者だけでなく町民に分かりやすい議論」のために、研鑽を積みみたいと思います。





一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

石坂 欣也 いしざか きんや
①本町における竹林の現状と課題

星野 宗央 ほしの かずひさ
①補聴器購入補助制度の拡充は
②上毛高原駅名変更についての費用は
③利根商の土地購入に関して



石坂 欣也 議員

町長 誰が仕切るかが課題 竹の環境ビジネスの構築は

問 町内にどれくらい放置竹林があるのか。

答 町長 現在農林課で把握している部分で、森林簿に届け出がある面積は約4ヘクタール。

問 自然環境への影響は。

答 町長 植物の生育が阻害されたり、生物多様性が失われる。傾斜地における地滑りのリスクが高い。獣害の誘発や里山の自然景観損失。道路沿いで交通障害の発生。

問 みなかみ町森林整備計画での竹林はどのような位置づけか。

答 町長 里地、里山の環境保全を目的として、地域で問題となっている放置された荒廃・侵入竹林等を適正に管理する取り組みをしている。

問 なに一つ無駄のない資源としての竹。循環型の環境ビジネスの構築は。

答 町長 産業観光生活環境常任委員会と議論を深め、何かそういうことを立ち上げることは非常に良いことと思う。ただやる方を含め、誰がやってくれるのか。誰が現場を仕切ってるかが課題だけ。いずれにせよ研究する必要がある課題だと考えている。
今後、資源というものを有効に活用できる仕組みについて、とも

に研究していかなければならない。



竹の利活用について (例)

農業・畜産	炭（土壌改良剤・除湿剤・消臭剤） 竹粉（土壌改良剤・家畜のえさ・コンポスト）
建築業・工業製品	炭（竹酢液） 竹繊維・竹粉（壁紙・不織布・ウッドデッキ材）
エネルギー	熱利用燃料（農業用ハウス・温水ボイラー） 発電燃料（バイオマス発電）





星野 宗央 議員

補聴器購入補助制度の拡充は 実態やニーズを調査研究



問 現行の制度は。

答 町長 補聴器の購入補助の給付は、身体障害者手帳をお持ちの方が対象。町独自の取り組みは、手帳の交付対象とならない軽・中度の18歳未満の難聴児を対象とした補聴器購入支援事業補助金制度を設けている。

問 県内でも40デシベル以上を基準に自治体独自の補聴器購入補助制度が実施をされている。町での高齢者向けの補助制度は。

答 町長 障害者総合支援法の対象となる方を除き、高齢者に向けた独自の補助金助成事業は行っていない。補聴器に対する新たな助成制度は、町内の高齢者の実態やニーズを調査し研究していきたい。

問 上毛高原駅名変更の費用は

答 町長 駅名変更にどのくらいかかるのか。

答 町長 先方より、金額のみが大きく注目されてしまう可能性があるため、公表せず内部検討等の資料



問 として利用してほしいと申入れを受けている。

答 町長 みなかみ町だけが費用を負担するのは無理があるので

答 町長 費用は非常に高額で、財政状況を踏まえると単独で負担することは大変厳しい。

利根商の土地購入

問 何坪購入して、坪単価は。

答 教育長 購入用地は約1184坪。坪単価は約3万5284円。

問 今まで公表されてこなかった理由は。

答 教育長 個人の用地を取得した際には、個人名や取得価格の公表につ

いは行っていない。それと同じ扱いをした。

問 必要な情報として聞いておきたかったが公表されなかった。町長の考えは。

答 町長 公表していないなんていうことはないと思うが、別に隠すこともないし、隠しようがないし、それは当然のこと。

ただ、利根商のことは利根沼田学校組合議会があり、それぞれの構成する自治体の議長が議員として、予算も決算も監査も全部諮っている。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

7月9日 総文委員会レポート
茨城県境町

視察 若者・子育て世帯の住環境整備

視察の理由

若者世帯の町外への流出は深刻であり、10代後半から20代にかけて大学進学等による転出のみならず、30代前後の地域を担う世代の転出も多い。その理由のひとつに、若者や子育て世代が住みたいと思う住環境が乏しく、本町に住みたいけど住めず、移住定住先と

して近隣自治体を選択する人が後を絶たない状況である。

令和4年に実施した本町所在の賃貸物件の入居状況調査によると、入居率は93%で築年数が40年以上たっている建物がほとんどであった。間取りやトイレ等の設備が十分な賃貸住宅が多く、若者世帯に魅力的かつ利便性の高い住居が不足しているのは明らかである。



さかい子育て支援センター S-WORK+KIDS

視察の概要

境町では「境町モデル」という、官民連携で公共施設の建設・管理・運営を行い、町が家賃収入を得ることで、実質維持管理費ゼロの公共施設運営を実現している。その手法として、PFI事業を活用した取り組みを行い、町の財政的負担を抑えつつ、民間活力を活かし、質の高い賃貸・戸建て住宅整備の方策を学ぶことができた。その他、突出したふるさと納税の強化策（令和5年度は約99億円）やナンバーワンに拘った子育て・教育支援策等々、住居の整備だけでなく、あらゆる魅力的な支援策が同時に行われるなど、移住先を検討

委員長のまとめこれから

境町では、町の支出を抑えつつ民間活力を生かし、質の高い住環境が整備されていた。その手法を参考にしながら、本町に合った住環境の整備策の確立と実施に向けた素早い取り組みを当局には求めていきたい。

また、本町には空き家が多いことから、空き家を活かした住環境整備策の検討も加速させる必要がある。加えて、現在ある町営住宅の利活用への方策も重要である。入居条件の所得制限緩和や、単身者の入居利用策の拡大に向けた手続きを、引き続き積極的に進めていくことにも期待したい。

最後に、持続的な町を創っていくためにも、本町に住みたいと思う人々が住める環境の整備が必須である。視察で学んだことを生かし、みなかみ町に合った手法で課題解決に向けて当局と共に取り組んでいきたい。

※注1 官民連携の一形態で、公共施設の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力や技術的能力を活用する手法。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

8月5日・9月6日 総文委員会レポート

課題 後閑駅前の交通利便性の向上

後閑駅は当町の玄関口であり、朝夕は特に通勤・通学者の乗降は大変多く、小・中・高生の通学路である。また、朝は急いでいる方が多く、安全性への配慮が必須である。現在、大変有難いことに、地域の有志の方々のご奉仕によって毎朝・夕に見守り活動が行われている。しかし、高齢化の影響もあり年々見守り活動に参加される方も少なくなってきた。現状である。そのため「危なかった」という声を耳にするとの発言があった。

これからは見守り活動隊の皆様のご厚意だけでは、未然に事故を防ぐことが危うくなってきているのが現状である。

そこで、事故を未然に防ぎ、後閑駅前の利便性と安全性の向上のための方策を、各課を跨いで検討する必要がある等、各委員より意見があった。

その他の議題

- 公用車の削減計画の進捗状況については、284台を本年度中に10台削減する。また、職員の私有車を公務使用する制度の見直しを行っている。
- 敬老祝い金の贈与基準については、5年以上継続して町内に住民票がある方で、75歳以上2千円、88歳に3万円、百歳に10万円を支給すると報告があった。
- 避難行動要支援者保護の名簿システムの導入については、委員より個人情報取り扱いについて慎重に管理することと、情報が共有できる範囲の明確化の必要性についての意見があった。
- 境町への視察における当委員会の報告書を当局へ提出した。資料を基にPFI制度やSP



C(特定目的会社)の概要の確認と、当委員会より当局が取り組むべき事項について意見交換を行った。特に住環境の整備だけでなく、課を越えて当町の強みを生かした子育て&移住定住支援策を今ある素材を活かして行う必要性について議論が行われた。

8月5日の議題

- 共創・Maas実証プロジェクトは、県や民間企業と連携して、本町が目指すべき地域公共交通の計画を立案するための支援を受ける。町の支出はない。
- 公共施設予約システムの導入は、担当課が管理をする体育施設や公民館等をインターネット等を活用して予約するシステムの導入を検討している。
- 月夜野小学校統合推進事業の進捗状況は、校章デザインへの決定、体育着の選考経過、校歌作曲の進捗等々の報告があった。
- 境町への視察について各委員と振り返りを行い、当局は今後どのように住環境の整備を進めていくべきか、報告書をまとめるための議論を行った。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

8月28日 総文委員会レポート

視察 についてはのいども園

いにはるこども園において、5月の給食等で、賞味期限が切れた牛乳を誤って提供するという事案が発生した。幸いにも体調不良を訴えた園児や職員はいなかった。しかし、今後同じ事案が発生しないために、現地にて再発防止策確認のため視察を行った。

問題の原因

廃棄すべきはずの牛乳が手違いで冷蔵庫に保管されていたものを、職員が誤って当日納入された牛乳と一緒に配膳してしまったことが原因である。

再発防止策の一部

- ・作業手順をマニュアル化し、職員がチェックしたものを園長が必ずチェックする。
- ・当日提供した牛乳に残数があった場合は、当日中の廃棄を徹底する。

委員長のまとめ

いにはるこども園の職員は日頃から園児の成長のために大変ご尽力されております。しかし、今回の問題においては職員間の連携やそれを組織する確認体制に課題があった。それらを踏まえた再発防止対策では、残った牛乳の廃棄処分の明確化や、それをチェックするマニュアルの作成、そしてそれらを実行するための確認体制の強化などが滞りなく行われており、再発防止策については全委員が納得したものであった。

これからさらに園児の成長に寄与できる施設となりますよう心より期待したい。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

8月20日 産観委員会レポート

視察

上の平浄水場系統横吹受水池・上組浄水場系統上組受水池

上の平浄水場は、主たる水源である上越新幹線大清水トンネルの良質な湧水を横吹受水池で確保し、旧水上南部地区と奈女沢地区に給水している。このトンネル湧水は他にも谷川の水道水源や鉄道・道路の融雪水として利用され、上毛高原融雪基地にも導水されている。浄水能力は日量1万5千m³あるが、現在は一日最大約7千m³を取水・浄水する程度で相当な余剰水が放流されている。

上組浄水場は、上越新幹線月夜野トンネルの湧水を主として、日量最大3千m³の浄水能力を有し、上組地区、名胡桃地区、小川・町組の一部に給水している。JR東日本からの湧水使用許可量は限られているが、夏期は融雪基地に導水されている分も含め上組受水池で受水させていただいており、水道水源のほか農業用水として利用している。そのため降雪期は広範囲に断水が発生することがあった。その都度JR東日本に増

量のお願いをしてきたが根本的な解消には至っていないと当局から説明を受けている。

トンネル湧水は、水質が良好で取水に動力を伴わない魅力的な水源である。町はJR東日本に協力を仰ぎ水道水の安定供給をめざすと共に、老朽化した水道施設の統廃合計画を進め、安定した給水はもとより新たな水需要にも対応できる水道づくりを進めてほしい。

両受水池を視察し、今後も安定した給水と新たな水源確保、老朽化した水道施設を含め、委員会としても注視していきたいと考えている。



上組受水池

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

8月6日・7日 産観委員会レポート
静岡県伊豆市・藤枝市

視察 有害鳥獣処理施設

目的

有害鳥獣による農作物被害を減らすために捕獲を推進している。しかし、埋設処理による捕獲者の身体的負担が課題となっていて、当委員会で処理方法について報告、検討がなされてきた。

令和6年2月26日の委員会で、農林課より処理施設、処理方法及び処理規模の報告があった。生分解処理施設を設置することにより、埋設処理の負担を軽減し、捕獲者の意欲向上による農作物等の被害軽減を推進する説明を受けた。

その後、7月4日の委員会において生分解処理施設整備に係るスケジュールの報告を受け、臭気に対する対策を調査目的とし、処理施設の現地視察を行うことを委員会で諮り実施した。



藤枝市有害鳥獣減容化施設

生分解処理施設の概要

伊豆市、藤枝市ともに生分解処理施設は、電動ホイスト、冷凍庫、処理装置、集塵機、脱臭装置を整備。

生分解処理の流れは、電動ホイストで処理槽（容量4千ℓ、有機物の腐敗を防ぐため80℃以上に設定）へ投入。投入された個体は攪拌され、微生物により極限まで分解される。一定量までは処理物の取り出しが不要。そして最後に集塵機、脱臭装置の順に稼働するまでが一連の流れとなる。

主な確認内容

藤枝市は住民説明会で臭気に対する懸念の声があったため、搬入口の手前に風除室を設けるなど臭気による周辺への影響に対して考慮していた。

伊豆市は極力影響のない設置場所の選定、建屋や脱臭装置などの説明を丁寧に行い、定期的に近隣の学校等へ臭気に対するアンケートを実施している。

委員長のまとめとこれから

視察後の委員会で振り返りを行い、各委員からは臭気に対してはさほど影響があるようには感じられなかった。設置場所については丁寧な説明会など十分配慮したうえで、捕獲者の負担軽減を進めるためにも、早い段階で生分解処理施設の建設を進めた方がよいとの意見があった。

当局が示した生分解処理施設設置の早期実現に向け、委員会としても取り組んでいきたい。



伊豆市食肉加工センター

まちの匠 machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方のことです。
みなかみ町の匠を紹介します。

匠ナンバー
7

チェーンソーの匠

中島 純一 さん Nakajima Junichi (57歳)



今では手に入らない奥利根ヒバなどが使われています。

作りしています。

大まかな設計図は画きますが、元あるものにしずつ合わせながら作り上げます。

匠になった経過は

私の部屋は父の手作りでした。もともと「手作り」が身近で、中学生の時にBEIPAL（アウトドア雑誌）を購読していたことや、野良仕事が好きだったり、祖父が植えた杉があったり、近所の方から伐採を頼まれたり、ほんとうに自然に今に至っています。

— 生まれたところ、育ったところ
旧水上町

— どんな匠なの
本職は料理人とペンション経営ですが、チェーンソーを使ってペンションの内装や家具を手



不要木が材料になり、木っ端は新になり、おじちゃん植えた木を孫が使う。森林の循環を見せたいと思いました。でも中島さんにとってそれは、SDGsや循環型社会の実現とか大きなことではなく、身近でもあった、あるべき姿なのでしょうね。中島さんの楽しそうな顔を見ると、もっとシンプルで心地よい生き方があるのだなと思いました。





★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

表紙の運動会はどこの小学校でしょうか。

- Ⓐ 新治小学校
- Ⓑ 水上小学校
- Ⓒ 桃野小学校

前回の議会だより 79号ふるさとクイズの正解は「Ⓒみどり」でした。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより「クイズ・感想」係
締切：令和6年11月30日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

379-1390

群馬県利根郡みなかみ町後閑三二八

みなかみ議会だより
「クイズ・感想」係

料金受取人私郵便
沼田局承認
1024
差出有効期間
令和7年3月
31日まで
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —

山折り線



ノビタキ (撮影場所：羽場)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

12月 3日 (火) ~
12月 11日 (水) の予定

場所：役場本庁舎3階議場
時間：開会は9時
席数：34席
【問い合わせ先】議会事務局
☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

- 委員長…鈴木 美香
副委員長…星野 宗央
委員…江口 樹
 石坂 欣也
 阿部 清
編集アドバイザー
 利根川太郎
編集モニター
 利根商業高等学校生徒

70代

レイアウトや文字の大きさは高齢者にも読みやすくなってきたと感じています。
(羽場)

30代

子ども達にICTを進めているのなら、町全体がデジタル化することで不便が便利になると思えました。
(記載なし)

79号でアンケートを実施しました。回答くださった方は8人です。ご協力ありがとうございました。結果は下記のとおりです。

文章は	読んでわかりにくい	1
	読んでわかりやすい	7

今号 18 ページにアンケートがあります。前号と同じく「分かりやすいか」を伺いますので、皆様からの回答をお願いいたします。

自治功労者表彰



高橋市郎議員 (20年表彰)、小林洋議員 (10年表彰)
利根郡町村会より自治功労者表彰を受けました。

編集後記

ことしは秋がどこかにいつてしまったのか。そんな猛暑が続き幾分心配しました。
過日、地元でいうところの「茂左衛門秋季大祭」が終わると、季節も「暑さ寒さも彼岸まで」の暦通りとなり、忘れていた秋が訪れました。
本町の令和5年度決算は16億9044万円(歳入)となりました。
災害のない本町に住まわせていただいていることに感謝し、「入り多く出を少なく」健全な運営に心がけていきたいと思えます。
(石坂欣也)





皆さんの感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。



← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○クイズの答え ⇒ _____

○住所 ⇒ _____

(ふりがな)
○氏名 ⇒ _____

○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代
・70代 ・80代～

谷-折-り-線

○議会だよりの感想

○アンケートにご協力ください。(あてはまる□にレを記入してください)

14 ページの文章は 読んでわかりにくい
 読んでわかりやすい

のりしろ

のりしろ

のりしろ